

# 佐佐木信綱筆の東京薬学専門学校女子部校歌

神の御鏡 みかがみ

うるわしく、清き

おみな的心もて、

たゆまず 倦まず つとめはげみ、

深き真理を探求す、

花さけ薬学 われらの薬学。

町の名におふ桜木は、

やまと心の国の華、

窓よりあふく(仰ぐ)

富士と筑波、高き

理想を象徴す、

花さけ薬学 我らの薬学。

智育 徳育 体育の、

三の訓をむねにして、

礎かたく歴史古き、

誉いよいよ世に挙げむ、

華さけ薬学 われらの薬学。

文学博士 源信綱 作歌



佐佐木信綱氏(1872~1963)  
※佐佐木信綱記念館提供

本歌を作詞し、自ら墨書した佐佐木信綱(1872~1963)は、明治~昭和の著名な歌人・国文学者。三重県生れ。東大卒。父弘綱主宰の竹柏会を継ぎ、「心の花」を創刊。歌風は温和で平明。「万葉集」の研究で知られる。歌集に「思草」、著に「日本歌学史」など。文化勲章。(広辞苑)。

詩の内容は、上野桜木の東薬女子部の賛歌で、昭和12年(1937年)2月9日に東京薬学専門学校女子部、校歌として制定されている。作曲は服部正氏。東薬の伝統の重さを語る史料である。



旧女子部校舎(昭和7年頃)

## 東京薬学専門学校女子部 校歌楽譜

荘厳に、優美に

佐々木信綱 作詞  
服部正 作曲

1. かみのみかがみうるわしく、きよきをみな  
2. ヤチノナオフサタラギハキヤマトコロノ  
3. ちいとくいたいくのみつのおしえを

1. こころもたゆまずうまがつとめはげみふた  
2. カキリソナアグフキジツクバ  
3. むねにしでいしづえかたくれきしふるきほ

1. かさしんりーをたんきりハなさけやくがーわれ  
2. カキリソナアグフキジツクバハなさけやくがーわれ  
3. まれいよーいよにーあげんハななさけやくがーわれ

1. らのやくがく  
2. ラノヤクガク  
3. らのやくがく

## 服部正(1908~2008)

作曲家、東京都出身。青山学院中等部を経て慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、三井生命保険株式会社に入社。帝国音楽学校講師を経て、国立音楽大学教授に就任。『次郎物語』や黒澤明監督の『素晴らしき日曜日』などの映画音楽や放送音楽を担当。

ラジオ体操第一の作曲者でもあり、弟子には小林亜星らがいる。武田薬品「パンビタンの歌」のCMソングも手がけている。

1978年紫綬褒章を、1984年勲四等旭日小綬章受章。2008年8月2日、老衰のため自宅にて逝去。日本のクラシック音楽の大衆化に努めた作曲家。